

INFORMATION *Circular*

JAPANESE SOCIETY OF DEVELOPMENTAL BIOLOGISTS

■第36回運営委員会報告	1
■会計報告及予算案	2
■シンポジウムのお知らせ	5
■学会会議だより	7
■会員異動	9
■DGDの買い取りについて	別紙

NO.56

MARCH 1987

日本発 生 物 学 会

〒160 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学教育学部生物学教室

日本発生物学会の諸組織は以下のとおり変更しました

会 長：〒160 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
早稲田大学教育学部 生物学教室
安増郁夫（電話 03-203-4141 内線3911）

DGD編集主幹：〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部 動物学教室
米田満樹（電話 075-751-2111）

DGD編集幹事：〒543 大阪市天王寺区南河堀町
大阪教育大学 生物学教室
加藤憲一（電話 06-771-8131 内線251）

事務局：〒160 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
早稲田大学教育学部生物学教室
（電話 03-203-4141 内線 3911）
（幹事長）^{ヒガシナカガワ トオル} 東中川 徹（三菱生命研）
（会計幹事）^{フジワラ テキコ} 藤原 昭子
（庶務幹事）^{ナミキ ヒデオ} 並木 秀男

学会センター：〒113 文京区弥生2-4-16
学会センタービル内日本学会事務センター
日本発生物学会係（電話 03-817-5801）

入退金、会費納入、および出版物（DGD、サーキュラー等）の郵送については、上記学会事務センターに書面で御問合せ下さい。

事務局よりのお願い！

テレホンカード販売について

前号のサーキュラーでもお知らせ致しましたが、日本発生物学会発行のテレホンカードを発売中です。まだお買求めでない方、どうぞ御購入下さい。すでに御買いになられた方も2枚目をどうぞ（そろそろ度数もなくなってきた頃と思いますが……）

まだ、たくさん残っておりますのでどうぞ御協力下さい。お願い致します。詳細は前54号をごらん下さい。

日本発生物学会

事務局会計幹事 藤原 昭子

第 36 回 運 営 委 員 会 報 告

昭和62年 1 月31日 於早稲田大学大隈会館

出席者 安増郁夫会長，天野 実，石崎宏矩，江口吾朗，岡田益吉，片桐千明，加藤淑裕，黒田行昭，佐藤矩行，鈴木義昭，平本幸男，星 元紀，水野丈夫，毛利秀雄の各運営委員，米田満樹，山名清隆の新旧D G D編集主幹，加藤憲一D G D編集幹事，並木秀男庶務幹事，藤原昭子会計幹事

1. 会長挨拶 安増郁夫 (No.55参照)

2. 庶務報告 並木秀男庶務幹事

選 挙 結 果 (No.55参照)

学会発表の特許申請について (ノ)

3. 会計報告 藤原昭子会計幹事 (本号参照)

4. 次期事務局について

東中川幹事長で三菱化成生命科学研究所に本年 6 月からお願いする。尚，安増幹事長が会長に就任したので，東中川氏は 1 月より幹事長となることを心よく御引き受け下さる。

5. 学術会議報告 平本幸男委員 (No.54, 55参照)

6. 次期大会準備状況 米田満樹準備委員長 (No.55参照)

7. 次々期大会開催地について

山形の勅発生・生殖生物学研究所にお願いする。

8. 編集局報告 米田満樹主幹

加藤憲一氏を幹事として順調にスタートした。

9. D G D の発行について，安増会長 (No.55参照)

超過頁代は12頁を越えた場合にする (現在は 8 頁)

現在無料の英文校閲を有料にする。

D G D の体裁 (版，デザイン等) の見直しをする。

10. 62年度予算案 藤原昭子会計幹事 (本号参照)

11. 学会費について，安増会長

学会の窮状を考えて，63年度から値上げをせざるを得ない。学生会費を新たに設ける。

(今大会での審議事項)

以 上

昭和61年度決算報告及び昭和62年度暫定予算

昭和61年度決算（一般会計の部）

収 入	金 額	支 出	金 額
学 会 費	5,717,208	DGD印刷製本費	9,550,000
D G D 売 上	4,625,100	編集局経費	3,310,000
バックナンバー売上	142,956	事務局経費	227,213
賛 助 会 費	320,000	運営委員会経費	283,200
広 告 代	963,000	大会講演要旨	702,500
文 部 省 助 成 金	4,160,000	サーキュラー印刷費（50～53号）	354,000
超 過 頁 代	1,838,538	大会援助金	250,000
利 息	13,818	大学印刷別刷代	491,000
雑 収 入	80,500	〃 発送費	555,105
		学会事務センター発送費	775,560
		〃 諸経費	122,170
		〃 事務委託費	986,257
		〃 DGD保管料	62,400
		選挙費用（名簿代含む）	222,500
		送金手数料	4,520
		特別会計へ算入（前年度名古屋大会より寄付）	579,206
小 計	17,861,120	小 計	18,476,231
前 年 度 繰 越 金	1,786,595	次 年 度 繰 越 金	1,251,484
前 受 会 費	80,000		
合 計	19,727,715	合 計	19,727,715

昭和61年度決算（特別会計の部）

収 入	金 額	支 出	金 額
寄 付（成茂基金）	500,000	旅費援助	600,000
〃 （61年度筑波大学大会）	1,263,736	送金手数料	2,000
〃 （渡辺浩先生の還暦を祝う会有志）	20,000	テレホンカード購入	780,500
テレホンカード売上	395,000	テレホンカード送付経費	9,230
一般会計より算入（60年度名古屋大会寄付）	579,206		
小 計	2,757,942	小 計	1,391,730
前 年 度 繰 越 金	1,370,721	次年度繰越金	2,736,933
テレホンカード在庫	423,500	テレホンカード在庫分	423,500
合 計	4,552,163	合 計	4,552,163

収入について

昭和61年度は、円高差損のため、DGD売上げの収入減が予想されましたが、その損害をアカデミックプレスと学会事務センターにある程度引き受けてもらったため、大幅な減収にならずにすみました。その上、多くの項目（学会費、賛助会費、広告代、超過頁代が例年に比べて増加）で収入増があり、60年度に比べて、72万円ほど増加し、非常によい結果になりました。

支出について

DGD印刷費は、Vol. 27 (6)～28 (5) 6冊分の印刷費にあたります。Vol. 27 (6)に、金谷記念号の余波で多くの論文が掲載された影響で、61年度の印刷費が大幅に増加致しました。編集局経費も、編集幹事の交代のため、その引きつぎ、あと始末の経費が必要になり増加し、学会事務センター関係の経費は、会長、運営委員の選挙のために必要な、名簿打出し、郵送費等で増加致しました。他の項目については、ほとんど予算内におさまっております。

特別会計に算入した579,206円は、前年度、名古屋大会からの寄付金に当ります。昨年、一般会計に収入として算入致しましたが、これは誤りで、特別会計へ算入すべきでしたので、改めて今年度特別会計へ算入致しました。お詫びし、訂正致します（一般会計に算入致しますと、かならず寄付をしなればいけないような印象を与え、大会を別き受けて下さるところに迷惑が掛かると思います）。

以上、61年度は収入も増加致しましたが、支出も増加し、繰越金は53万円程減少致しました。

特別会計について

次年度繰越金は、テレホンカード在庫分（605枚相当）を含みます。61年度筑波大会寄付や、前述の一般会計からの算入で、特別会計の繰越金は増加致しました。

以上、報告致します。

昭和62年度暫定予算ソノ1（一般会計の部）

収 入	金 額	支 出	金 額
学 会 費	5,300,000	DGD印刷費	9,200,000
D G D 売 上	3,930,000	編集局経費	2,710,000**
バックナンバー売上	100,000	事務局経費	200,000
賛 助 会 費	320,000	運営委員会経費	350,000
広 告 代	950,000	大会講演要旨	700,000
文 部 省 助 成 金	4,160,000	サーキュラー印刷費	400,000
超 過 頁 代*	500,000	大会援助費	250,000
利 息	10,000	大学印刷別刷代	500,000
雑 収 入	80,000	〃 発送費	560,000
		学会事務センター発送費	700,000
		〃 諸経費	100,000
		〃 事務委託費	850,000
		〃 DGD保管料	70,000
		送金手数料	5,000
小 計	15,350,000	小 計	16,595,000
前年度繰越金	1,251,484	次 年 度 繰 越 金	6,484
合 計	16,601,484	合 計	16,601,484

（注） * 超過頁代の徴収を Vol. 29No. 4 より、やめる予定ですので、予算は例年の半額になっています。

** 上記の結果、英文校閲のために必要だった費用が半額になり、その分だけ予算を少なく見積っています。

本号 P. 1 参照

昭和62年度暫定予算（特別会計の部）

収 入	金 額	支 出	金 額
寄 付	500,000	旅 費 援 助	500,000
		送 金 手 数 料	2,000
小 計	500,000	小 計	502,000
前年度繰越金 (テレホンカード在 庫含む)	3,160,433	次 年 度 繰 越 金	3,158,433
合 計	3,660,433	合 計	3,660,433

DGD売り上げは、61年度より15%以上の減収になります。今年度はドル安が直接影響致します。収入予算は、61年度の約86%になります。

支出は、大会講演要旨集、サーキュラー、大学印刷経費などを除いて（前年度と同じ）、緊縮予算を組んであります。それでも、次年度の繰越金は極端に減少し、結果として大幅な赤字になる可能性があると考えられます。

会計幹事 藤原昭子

シンポジウムのお知らせ

Optical Approaches to the Dynamics of cellular Motility

Woods Hole 臨海実験所創立 100 年記念シンポジウムのひとつとして、昨年 3 月亡くなった Robert D. Allen を記念した上記のシンポジウムを1987年10月3～5日に Woods Hole で開催します。トピック及び演者は次の通りです。

細胞生物学における顕微鏡技術 (G. Nomarsky, 井上信也, D. L. Taylor, D. A. Agand, 柳田敏雄); アメーバ運動および原形質流動 (神谷宣郎, M. Schliwa, J. Hartwig, G. Oster); 細胞分裂 (平本幸男, E. W. Salmon, A. Bajer, L. I. Rebhun and R. Palazzo, W. C. Cande); 他の系における細胞運動 (N. S. Allen, R. Hard, J. Hayden, J. Lafonttain, C. Izzard); 微小管のダイナミクス (R. Sloboda and S. G. Ibert, J. Travis and S. Bowser, T. T. Chen, P. Satir, 宝谷紘一); 軸索輸送 (D. Weiss and G. Langford, R. Smith, A. Brerrer, B. Schnapp, R. Weisenberg)。

10月7日の午後にはポスターセッションがあります。参加費。\$75。宿泊設備は限られています。(申込順, 7月1日締切)。問い合わせ先: Robert Day Allen Symposium, P.O. Box 477, Woods Hole, MA02543 USA。(ややくわしいお知らせは, Zoological Science, Cell Structure and Function および Development, Growth and Differentiationの最近号に掲載される予定です。)

第7回国際無脊椎動物および魚類組織培養学会議についての参加のご案内

第7回国際無脊椎動物および魚類組織培養学会議 (7th International Conference on Invertebrate and Fish Tissue Culture) が、本学会後援のもとに来る5月10日(日)より7日間、伊豆・大仁ホテルで開催されます。この会議は4年ごとに開かれる国際会議ですが、今回からは新しく魚類も加わり、世界各国やわが国の研究者からの講演およびポスターによる約100題の研究発表が9つのSessionにおいて行われます。わが国では初めてのこの会議に多数の会員の皆様のご参加を期待しております。

1. 開催期日および場所

期日：昭和62年5月10日(水)～16日(土)

場所：大仁ホテル(〒411 静岡県田方郡大仁町1178)

TEL 0558-76-1771

2. 会議の主なプログラム

5月10日(日) 午後：Registration

夜：Opening Ceremony

11日(月) 午前：Session 1 : New Cultures and Techniques

午後：Session 2 : Physiology and Endocrinology

夜：Poster Session 1

Reception

12日(火) 午前：Session 3 : Production of Specific Proteins by

Cultured Cells in vitro

午後：Session 4 : Cell Differentiation and Gene Expression

夜：Poster Session 2

13日(水) Round Table 1 : Identification of Cell Lines

Excursion

14日(木) 午前：Session 5 : Application of Cell Cultures to Pathology and Microbiology

午後：Session 6 : Application of Cell Cultures to Pathology and Microbiology

夜：Round Table 2 : Cell Cloning

15日(金) 午前：Session 7 : Fish Cell Culture Development

午後：Session 8 : Fish Cell Culture Application

夜：Banquet

16日(土) 午前：Session 9 : New Cell Lines and Their Characterization
Closing Ceremony

3. 会議の参加申込

参加ご希望の方は参加費35,000円(同伴者10,000円)を沿えて、下記にお申込みください。なお、宿泊ご希望の方はその旨お知らせください。

〒411 静岡県三島市谷田1,111 国立遺伝学研究所内

第7回国際無脊椎動物および魚類組織培養学会議

会長 黒田 行 昭

TEL 0559-75-0771 (内線573)

21世紀の学術とその動向調査

昭和62年2月 日本学術会議広報委員会

日本学術会議は、昨年9月27日(土)、初めて日本学術会議主催公開講演会を開催しました。

今回の「日本学術会議だより」では、公開講演会「21世紀の学術」の講演内容と日本学術会議の国際交流事業の一つである二国間学術交流及び来年度に開催される共同主催国際会議についてお知らせします。

また、昨年10月、第101回総会で設置された「地域の研究推進特別委員会」等について内容を紹介いたします。

公開講演会「21世紀の学術」

本会議は、学術の成果を国民に還元するという日本学術会議法の趣旨に沿うための活動の一環として、9月27日、本会議講堂において、公開講演会「21世紀の学術」を開催した。

これは、第13期日本学術会議主催の初めての公開講演会であったが、各界各層及び一般市民から350人以上が聴講し、成功裡のうちに終了した。

講演は、3人の演者の講演とそれに関連する質疑応答が行われた。

まず最初に、近藤次郎日本学術会議会長が「これからの科学の望ましいあり方」について、1855年王立研究所のファデーの講演を示しながら、学術会議の講演会の意義を述べるとともに、21世紀の中期に焦点をあてて明暗の予測として、人口増加、CO₂の増加、森林喪失、砂漠化、核戦争の影響、核の冬の問題等について、スライドを交えながら意見を述べられた。そして、最後に科学技術の進歩が新たな職業を労働者に提供するとともに、多くの失敗も相次いで起こっており、そこで科学を望ましい方向に向けることの重要性を力説した。

次に、本明寛日本学術会議第1部長（早稲田大学教授）が「創造性豊かな人材の育成」について、若者の創造性をいかにして養成するかは、指導する側の態度・助言及び自己主張を表現できるムード・環境作りが重要であるとともに、若者の個性を伸ばすためには「見る・聴く」の教育から「聴く・話させる」の教育へ移行させる必要性が述べられ、21世紀に向けて、今、若者をいかにして「教える」かではなく、「育てる」かが重大であると力説した。

最後に、西川哲治日本学術会議第4部会員（高エネルギー物理学研究所長）が「学術研究における国際性」について、演者の専門分野である物理学特に原子核物理学の分野を中心に演者の体験を踏まえて、高エネルギー物理学のみならず基礎科学の研究には国際協力が不可欠であり、国と国とが独自の個体となって対等なぶつかり合うことが重要であると述べられた。そして、現在、日本では言葉のカベが問題であるが、来訪者に対して特別扱いせず、発展途上国からの研究者に対しても温かく見守るだけでなく、自分でやれるように仕向けることが必要であると力説した。

（なお、この講演会の講演内容は、日学双書第2刊として、財団法人日本学術協力財団から出版されます。1月末日発行予定）

このような日本学術会議主催の公開講演会は、今後各年度2～3回を目標に開催していくこととしております。

二国間学術交流

本会議は、我が国が科学や技術面において諸外国と交流を深め、それにより我が国の科学技術の総合的な発展に寄与することを目的として、昭和58年度から毎年2か国を選んで代表団を派遣している。58年度にはアメリカ合衆国、マレーシア、59年度にはドイツ連邦共和国、インドネシア共和国、60年度にはスウェーデン王国、タイ王国、そして今年度は11月15日から24日までフランス共和国へ、また、12月8日から14日まで大韓民国へ会長、副会長以下7名ずつの会員を派遣した。

日本学術会議の第13期は、その活動計画にあるとおり、「学術研究の国際性重視と国際的視野の確立」をその活動の重要な柱の一つとしている。今回もその観点に立って訪問諸機関との間で熱心な協議が行われた。

今回の代表団は、派遣国において科学技術政策や教育を担当する行政機関、研究所、大学等を訪問し、情報交換を行い、さらに訪問先の関係者と両国の学術研究とその問題点について討論を行った。

フランスでは、特に教育の問題について関心が高く、この問題について各地で関係者から種々の意見を聞くとともに情報交換を行った。さらに近藤会長がコレージュ・ド・フランス及び国立科学研究センターで「日本の最近の科学・技術政策について」講演を行ったが、これに対し、最近のフランスの我が国科学技術政策への関心の高まりを反映し、熱心な意見交換が行われた。

韓国では、最近の産業の発展と科学技術の役割の観点から日本学術会議の役割と活動を含め、我が国の学術体制への質問が多く出されるとともに学術研究の面における協力要請が各訪問先で出され、我が国に対する期待が高いことを深く痛感した。

今回の成果は、代表団の訪問時だけのものではなく、今後の相手国との継続的な科学者の交流、情報、資料の緊密な交換、日本学術会議と相手国機関と相互理解の促進、関係緊密化等の形で永続的に表れるものであり、加えて、これらの成果は、我が国の学術研究の国際交流・協力の基本姿勢及びその抜本的充実方策を検討する場合の大きな資料として役立つものと期待される。

昭和62年度共同主催国際会議

我が国の多数の科学者が世界各国を代表する関係科学者と接し、最近の研究情報を交換し、我が国の科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させることを目的として、昭和28年以降毎年おおむね4件の学術関係国際会議を学・協会と共同主催している。近年、国内外において日本開催の要請が強く、また、日本開催国際会議は高い評価を得ている。昭和62年度は次の4国際会議を開催する。

第6回ケムローン世界会議

開催期日 昭和62年 5月17日～22日
開催場所 東京都（都市センターホール）
参加者数 国外 300人、国内 600人、計 900人
[36か国]

共催団体 ①日本化学会

- ※ この会議は、産業、経済の発展と密接な関係を持つ材料問題と材料、宇宙開発の将来計画と材料、未来のコンピュータと材料等について研究発表と討論を行い、材料工学の発展を図ることを目的としている。

第18回低温物理学国際会議

開催期日 昭和62年 8月19日～26日
開催場所 京都市（国立京都国際会館）
参加者数 国外 600人、国内 750人、計 1350人
[38か国]

共催団体 ①日本物理学会、②応用物理学会

- ※ この会議は、量子液体、量子固体、超伝導、固体の低温物性、低温技術及び応用等を主要題目とし、研究発表と討論を行い、低温物理学の発展を図ることを目的としている。

法哲学・社会哲学国際学会連合第13回世界会議

開催期日 昭和62年 8月20日～26日
開催場所 神戸市（神戸国際会議場）
参加者数 国外 150人、国内 300人、計 450人
[22か国]

共催団体 日本法哲学会

- ※ この会議は、法、文化、科学技術—異文化間の相互理解を主要題目とし、科学技術の時代における法と倫理、現代法哲学・現代法社会哲学の基本問題、東西法文化の比較について研究発表と討論を行い、法哲学・社会哲学の発展を図ることを目的としている。

第6回国際会計教育会議

開催期日 昭和62年10月7日～10日
開催場所 京都市（国立京都国際会館）
参加者数 国外 250人、国内 400人、計 650人
[56か国]

共催団体 日本会計研究学会、日本経済学会連合

- ※ この会議は、国際理解のための会計教育、会計研究を主要題目とし、研究発表と討論を行い、会計研究の発展を図ることを目的としている。

地域の研究推進特別委員会

日本学術会議は、昨年10月の第101回総会において、「臨時（特別）委員会の設置について（申し合せ）」の一部を改正とし、新たに「地域の研究推進特別委員会」を設置することとした。

【目的】

基礎的研究を十分に発展させるためには、研究基盤が広く整備され、各地で特色をもった研究が行われて、研究者

の交流、人事の流動なども活発に行われることが必要である。

地域における学術の振興のための学術体制については、その必要性に応じていろいろな方策が考えられているが、当面、地域に個々の大学、研究機関及び産業界の研究者等に広く開かれた共同利用の総合的、学際的研究機関を設置するのが最も实际的で、かつ有効な方策であろうと思われる。このような研究機関は、地域の研究に関する中枢的機能も果たすべきである。

学術研究動向に関するアンケート調査 についてお願い

日本学術会議第3常置委員会では、第13期における活動の一環として学術研究動向の現状分析とその展望を行い、今後の学術研究の発展に寄与するために「学術研究動向に関する白書（仮称）」の作成を主要目標としています。

この白書作成については、第99回総会（昭和60年10月）で決定した第13期活動計画において「学術研究の動向について総合的分析を加え、その長期的な研究計画を総合的レビューのためのいわゆる『学術白書』の作成の可能性を検討する」と述べられており、次の第100回総会（昭和61年4月）において、この白書を作成することが了解されました。これらの総会の決定に基づき、白書の具体的内容、作成手続等について検討を重ねてきた第3常置委員会では、白書作成のための資料を得る目的で、本会議の全会員・研究連絡委員会委員および学術研究団体等に対する学術研究動向に関するアンケート調査を実施することにしました。

今回作成予定の白書は、人文・社会及び自然科学の全学問分野の現状分析と動向の的確な把握、問題点の解明等を行うことを目指していますが、これらのことを適切に行うためには、全会員の英知の結集等が不可欠なことは言うまでもありませんが、更にそれに加えて、現に日本学術会議の存在の基盤を成している全学問領域にわたる約830の学術研究団体及び各専門の学問領域や研究課題ごとに設置された180の研究連絡委員会（委員数2370人）の御協力、御支援が是非とも必要であると考えております。

以上のことを踏まえて、アンケート調査の具体的な手順としては、現在、全会員・研究連絡委員会委員にアンケート調査票を送付済みであり、昭和62年2月28日を締切期日として回答願うこととしております。

また、学術研究団体等に対するアンケート調査は、3月上旬に依頼することにし、回答締切は4月末を予定しております。

白書の内容は、各団体等の研究計画等を考える上で種々活用していただけることと思いますので、アンケート調査票がお手許に届きました学術研究団体等におかれましては、年度末の御多用の折、御面倒をおかけしますが、御協力のほどよろしくお願いいたします。

多数の学・協会の御協力により、「日本学術会議だより」に掲載していただくことができ、ありがとうございます。

なお、御意見・お問い合わせ等がありましたら下記までお寄せください。

〒106 港区六本木7-22-34

日本学術会議広報委員会

（日本学術会議事務局庶務課）

電話 03 (403) 6291

会 員 異 動

<新入会>

氏 名	所 属	(①テーマ ②材料)
竹 内 正 紀	吉富製薬(株)中央研	①化学発癌, 生殖毒性 ②ラット, マウス, ウサギ
角 田 幸 生	農林水産畜産試験場繁殖部	①哺乳動物初期胚の細胞工学的研究 ②マウス, ラット, ハムスター, ウサギ, ヤギ, メンヨウ, ブタ, ウシ
野 崎 正 美	阪大微生物病研・細菌ウイルス部門	①哺乳類初期胚における遺伝子発現とその制御 ②マウス
(株)成茂科学器械研究所		
日本光学工業(株)		
朝 倉 英 則	琉球大学・理・生物	①交雑 ②ウニ
水 野 重 樹	東北大・農・農芸化学科生物化学	①動物遺伝子の発現の組織特異性, 時期特異性, 協調性の制御機構に関するDNAおよびクロマチンレベルの解析 ②ニワトリ, カイコ

<住所変更>

氏 名	新 住 所
小 松 美英子	富山大・理・生物
増 田 道 隆	国立循環器病センター研究所形態部
祐 村 恵 彦	山口大・理・生物 発生生物学
押 尾 茂	(自) 〒275 習志野市谷津3-1-15-406
浜 島 光 世	(自) 〒470-21 愛知県知多郡東浦町森岡池端4-3
小 沢 鉄二郎	国立精神・神経センター 神経研究所機能研究部
萩 原 康 子	同 上
野 呂 知加子	同 上
木 村 一 郎	同 上
沢 田 均	東工大・理・生物

菊池 慎一 千葉大・小湊実験場

上田 泰次 東京理科大・理・応用生物

MR. YASUSHI HIROMI DEPT. OF BIOLOGICAL SCIENCES STANFORD UNIV.
STANFORD CA 94305-2493 U.S.A

<退 会>

氏 名

田中 信徳 左 貝 アイ子 橋 本 碩

和田 圭司 和 田 俊 司 堀 内 健太郎

有 村 勝 男 橋 戸 和 夫

〔賛助会員〕

組織培養はパイレックスコーニングの岩城硝子㈱ (〒100 千代田区丸の内3-2-3)

TEL 03-214-7401

生物学・生態学洋書のことならグリーン洋書㈱ (〒211 川崎市幸区小倉610-1-506)

TEL 044-533-0470

日製産業株式会社

(〒453 名古屋市中村区名駅4-6-18 名古屋ビル内)

発生学をはじめとする生物科学書の出版社・培風館

(〒102 千代田区九段南4-3-12)

最良の選択ファルコン組織培養器具ベクトン・ディッキンソン・オーバーシーズ Inc.

(〒107 港区赤坂8-5-84 島藤ビル) TEL 03-403-9991

マウス・モノクローナル抗体(アロ抗体)は明治乳業㈱

(〒104 中央区京橋2-3-6)

TEL 03-271-4333

三菱化成生命科学研究所

(〒194 町田市南大谷11)

科学の技術に奉仕する理工学社

(〒113 文京区本駒込5-9-10)

TEL 03-928-5211

次代を担うバイオテクノロジー和研薬株式会社

(〒606 京都市左京区北白川西伊織町25)

タイプ別コラーゲン抗体は㈱アドバンスへ

(〒103 中央区日本橋小舟町5-7)

TEL 03-667-1551

バイオテクノロジーで未来をひらく㈱バイオ科学研究所 (〒990 山形市城西町5-34-5)

TEL 0236-44-5030

(株)武田薬品工業中央研究所 (〒532 大阪市淀川区十三本町2-17-85)

学術研究用人工海水 ジャマリン®

- 含有元素の組成は外洋水の分析値による。
- 完全に溶解する。
- 水質は極めて安定。自然海水のようなバラツキがない。
- 研究の目的により色々の種類がある。
- 殆んどすべての海の生物に使用できる。
- 世界各国で広く使用されている。

◆価 格(送料別)	20ℓ用	5ℓ用	2ℓ用	
Jamarin S	2,000円	1,000円		オートクレーヴィングできる 一般用
Jamarin U	1,600円	800円		
Ca-free Jamarin		1,500円	750円	
Ca,Mg-free Jamarin		1,500円	750円	
Sulfate-free Jamarin		1,500円	750円	

お問合わせ、ご注文は直接下記へお願いします。

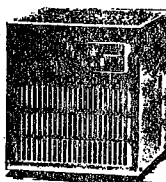
ジャマリン ラボラトリー

〒536 大阪市城東区鳴野西2丁目11番5号 電話 大阪(06)968-3154

加熱冷却ユニット

クーラー・ヒーターはチタン製。淡水はもちろん海水や薬品液にも使用できる高性能の循環式小型加熱冷却装置です。

形式	クーラー	ヒーター	概略水量	価格
HC061A-3	65W	300W	120 l	¥196,000
HC101A-3	100W	300W	160 l	¥207,000
HC131A-5	130W	500W	260 l	¥220,000
HC201A-5	200W	500W	360 l	¥237,000
HC301A-5	300W	500W	670 l	¥298,000
HC401A-5	400W	500W	1000 l	¥335,000



温度コントローラー

温度を精度良く一定に保つことができます。循環ポンプなどの使用に便利な予備コンセント付き。警報付きなど各種あります。



形式	設定方式	温度指示	温度目盛	制御方式	価格
TA200※	アナログ	なし	-50 ~ 50°C	二位置	¥26,000
TA201-S	アナログ	全指示	0 ~ 50°C	二位置	¥38,000
TD202※	デジタル	偏差指示	0 ~ 99.9°C	二位置	¥29,000
TA300-S	アナログ	なし	0 ~ 50°C	三位置	¥37,000
TA301-S	アナログ	全指示	0 ~ 50°C	三位置	¥44,000
TD302-S	デジタル	偏差指示	0 ~ 99.9°C	三位置	¥48,000
TD303-S	デジタル	全指示	0 ~ 99.9°C	三位置	¥58,000

注) 測温抵抗体と併せてご使用下さい。

※印はサーミスター測温体 ¥1,800(空気用) ¥3,000(水用)

無印は白金測温体シース材質 SUS304 ¥7,900 Ti ¥12,000

低温恒温循環水槽

実験台上でも使用できるように極めてコンパクトにまとめた低温恒温循環水槽です。水温は低温から高温までを任意に設定することができます。外部循環機能をそなえておりますので恒温水槽のほか、カラムの冷却、保温など幅広い用途があります。

形式:CT 65-300-S

使用温度範囲:0~50°C

温度調節精度:±0.1°C

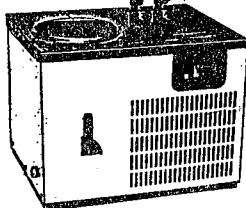
外形寸法:W420×D330×H340

槽内寸法:φ153×H187

冷凍機:65W

ヒーター:300W

価格:¥250,000



温度勾配装置 (ウォーターバス)

温度調節水槽はそれぞれ独自の温度に設定できます。精度の高い恒温が得られます。温度の設定はデジタル式。振とう装置付きもあります。

形式:TGW-3(三連)/TGW-6(六連)

使用温度範囲:0~50°C

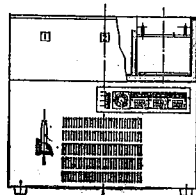
温度調節精度:±0.1°C

槽内寸法:150×260×150×3/×6

冷凍機:65W

ヒーター:100W×3/×6

価格:¥620,000/¥780,000



恒温ボックス

四面全面加熱冷却の新方式による高性能の恒温ボックス。

庫内は精度よく一定温度に保たれます。

庫内に霜が付きません。従って乾燥しません。

形式:CTA 452-1

外形寸法:W700×D460×H440

槽内寸法:W380×D380×H350

温度範囲:10~40°C

冷凍機:100V 65W

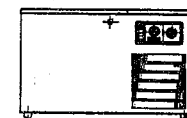
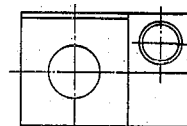
ヒーター:100V 100W

蛍光灯:32W

タイマー:24h

電源:AC100V, 50/60Hz

価格:¥350,000



ポータブル インキュベーター

小型軽量、持ち運びが容易です。

庫内は精度よく一定温度に保たれます。

冷凍機とヒーターを備えていますので庫内を低温(0°C)から高温(40°C)まで任意の温度に設定することができます。

電源は交流・直流両用です。車載用として搬送、野外での使用の他研究室内で利用することができます。透明蓋付もあります。

形式:CTM 305, CTM 306

外形寸法:631×360×H373

槽内寸法:350×280×H260

価格:¥187,000(12V用)

¥189,000(24V用)

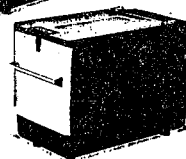
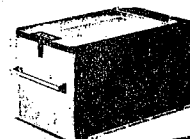
形式:CTM 405, CTM 406

外形寸法:631×360×H480

槽内寸法:350×266×H352

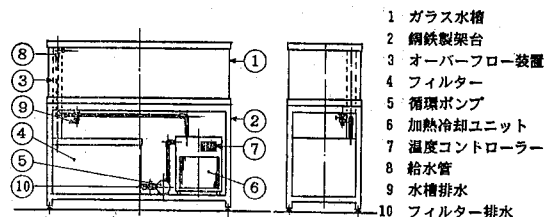
価格:¥196,000(12V用)

¥198,000(24V用)

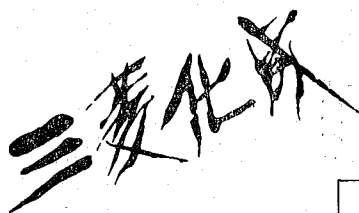


水生生物環境調節装置

各種の魚介類が飼育できます。各機器はユニット形式を採用。点検管理が容易です。水槽、加熱冷却ユニット、温度コントローラー、フィルター、循環ポンプなどは全て海水仕様です。



形式	水槽	クーラー	ヒーター	価格
ARA 9.5-101A-5	900×500×450	100W	500W	¥459,000
ARA 9.6-131A-5	900×600×600	130W	500W	¥663,000
ARA12.5-131A-5	1,200×500×500	130W	500W	¥678,000
ARA12.6-201A-5	1,200×600×600	200W	500W	¥858,000
ARA15.6-301A-10	1,500×600×600	300W	1,000W	¥1,005,000
ARA15.7-401A-10	1,500×750×750	400W	1,000W	¥1,297,000
ARA18.6-301A-10	1,800×600×600	300W	1,000W	¥1,107,000
ARA18.7-401A-10	1,800×750×750	400W	1,000W	¥1,475,000



なか しべ つ

中標津血清

ライフインダストリーの三菱化成が採血から濾過まで一貫国内生産
最終濾過は孔径0.1 μ mのメンブレンフィルター使用

準胎児血清

生後24時間以内で初乳を飲む前の新生仔牛から採血

新生仔牛血清

生後2週間以内の新生仔牛から採血

成牛血清

1.5才以上の牛から採血

ARMOUR血清

Armour Pharmaceutical Company (U.S.A.) 製造

胎児血清

(Rehatuin® F.S.)

仔牛血清

生後16週間以内の仔牛から採血

何れもロットチェック用サンプルを提供致します。



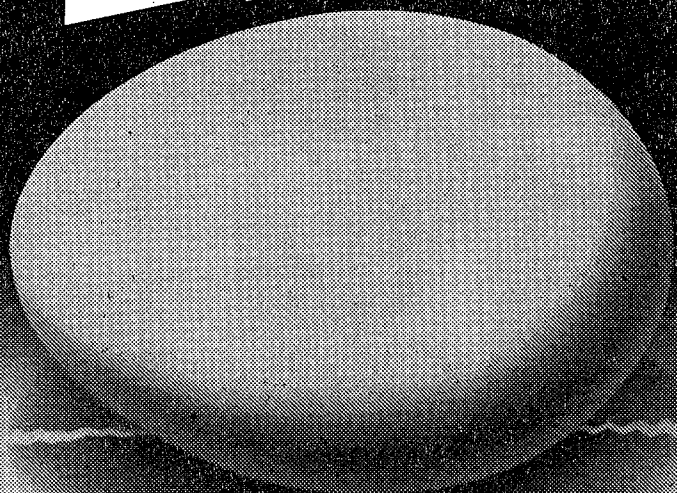
三菱化成工業株式会社 医薬事業部

〒100 東京都千代田区丸の内2-5-2(三菱ビル)
☎03(283)6791(直通)

大阪支店化成品部門
☎06(208)4560(直通)
東京支店化成品部門
☎03(283)6100(直通)

名古屋支店化成品部門
☎052(562)2556(直通)
九州支店化成品部門
☎092(291)8891

増殖 エネルギー



増殖を支える大きな力、組織培養用培地 —— 日水製薬から

■ 高压蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	イーグルMEM培地①
■ 高压蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO ₃ ・L-Gln・PR不含	イーグルMEM培地②
■ 高压蒸気滅菌可能 NaHCO ₃ ・L-Gln・PR・KM不含	イーグルMEM培地③
■ 高压蒸気滅菌可能 浮遊培養用 KM含有 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	イーグルMEM培地④
■ 高压蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO ₃ ・ L-Gln・L-Arg・L-Leu・L-Met・L-Phe不含	イーグルMEM培地⑤
■ 高压蒸気滅菌可能 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	イーグルBME培地
イーグルMEMアミノ酸ビタミン培地	
■ NaHCO ₃ 不含	ダルベッコ変法イーグル培地①
■ 高压蒸気滅菌可能 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	ダルベッコ変法イーグル培地②
■ NaHCO ₃ 不含	199培地
■ NaHCO ₃ 不含	ハムF12培地
■ NaHCO ₃ 不含	RPM I 1640培地①
■ 高压蒸気滅菌可能 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	RPM I 1640培地②

■ NaHCO ₃ 不含	フィッシャーの培地
■ 高压蒸気滅菌可能 KM含有 NaHCO ₃ ・L-Gln不含	ES培地
■ NaHCO ₃ 不含	ハンクス液①
■ NaHCO ₃ ・PR不含	ハンクス液②
■ NaHCO ₃ 不含	アール液
ダルベッコPBS(-)粉末	
■ ダルベッコPBS用	金属塩類溶液
■ 無菌凍結乾燥	グルタミン



製造発売元

日水製薬株式会社

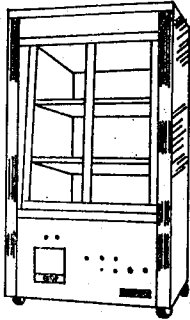
本社 〒170 東京都豊島区巣鴨2-11-1

電話 03 (918) 8166 (代)

営業所 東京・関東・大阪・名古屋・広島・福岡・仙台・札幌

NK式生物研究用機器

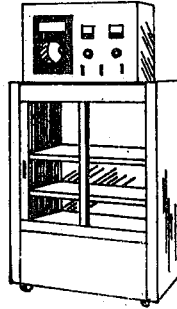
NK式電気低温恒温器(送風循環型) 高精度普及型



型式	LP-100 -S型	LP-150 -S型	LP-200 -S型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×380 ×490	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	26万円	30.5万円	32万円

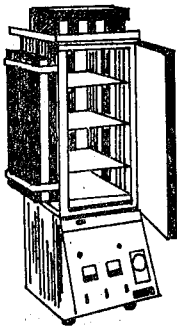
※その他いろいろなタイプがあります。

NK式プログラム電気低温恒温器(送風循環型) 四季の温度がプログラムで自在に再現できます！



型式	LP-150 -3P	LP-200 -3P	LP-300 -3P
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×880 ×480	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	49.8万円	53.5万円	60万円

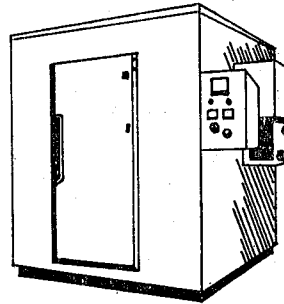
NK式人工気象器 植物の育成、小動物(昆虫)飼育の本格派！



型式	LH-100 -RD型	LPH-100 -RD型	LH-100 -RDP型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	360×350 ×680	360×350 ×680	360×350 ×680
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+10℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	温度のみ 47万円	温・湿 度付 73万円	プログラ ム付 66万円

※その他いろいろなタイプがあります。

NK式プレハブ電気低温恒温槽 組立、移設、増設が思いのまま！

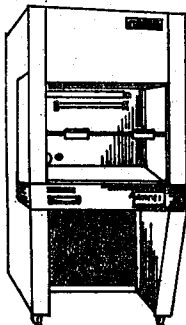


精密型

- LH型+5℃~45℃
価格1坪 1,190,000円
より各種
- LP型+18℃~45℃
価格1坪 1,290,000円
より各種

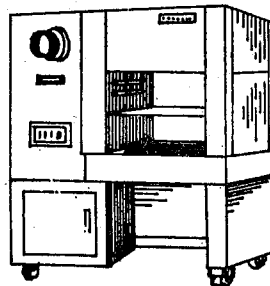
※詳細はプレハブシリーズカタログをご請求下さい。

NK式クリーンベンチ(垂直層流型)



NKB-VS-850
¥780,000
NKB-VS-1300
¥880,000

NK式クリーンベンチ(垂直層流両面型) 無菌作業の能率アップに！



NKB-VW-850
¥1,200,000
NKB-VW-1300
¥1,500,000

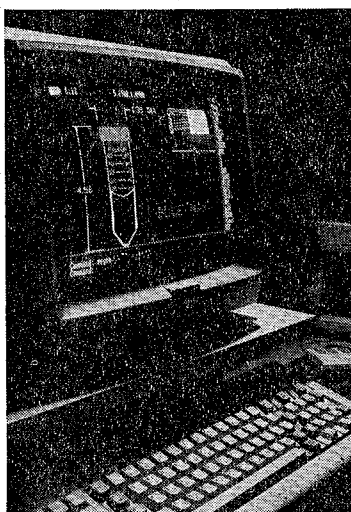
NKS 株式会社 日本医化器械製作所

本 社 〒550 大阪市西区江戸堀1丁目19番24号 電話 大阪 06(443)0712℥
東京営業所 〒183 東京都府中市緑町7053-4 電話 府中 0423(65)3245℥
工 場 〒583 羽曳野市駒ヶ谷5番地47号 電話 羽曳野 0729(58)1919℥



研究活動最前線。先進の科学でお応えします。 ファルコン組織培養器具

高度な研究活動に、すぐれた器材の存在が欠かせないように、そこで使われる器材の開発にも高度な科学技術と最新の手法が駆使されています。ファルコンは、研究室におけるニーズを先取りする形でさまざまな組織培養器具を開発しており、そこでは、最新の科学的手法が活用されています。コンピュータによる製品開発・設計システムは、機能面、品質面ですぐれた製品づくりに役立っております。材質面では、研究室においてフルに性能を発揮するように開発され選び抜かれたものが使われています。たとえば、50mlコニカルチューブ



ブルーマックス (Blue Max) については、透明度と強靱さを両立させるため、特別に開発した共重合体ポリプロピレンを使用しています。

ベクトン、ディッキンソンの品質保証基準は、合衆国のGMPによるガイドラインを上回っており、また製品内のバラツキを無くするためのプロセスモニターは、軍仕様の基準による品質プログラムを使用し、高い品質水準を確保しています。

研究活動の最前線で求められる信頼性の高い組織培養器具——

ファルコンは先進の科学技術でお応えいたします。

**BECTON
DICKINSON**

輸入販売元

Becton Dickinson Overseas Inc.

ベクトン、ディッキンソン オーバーシーズ インク

〒107 東京都港区赤坂8-5-34 島崎ビル TEL: 03(403)9991(代)

●B-D、ファルコン、Falcon、Blue Maxは、ベクトン・ディッキンソン アンドカンパニーの商標です。●Becton Dickinson Labwareはベクトン・ディッキンソン アンドカンパニーの事業部です。

製造元

Becton Dickinson Labware

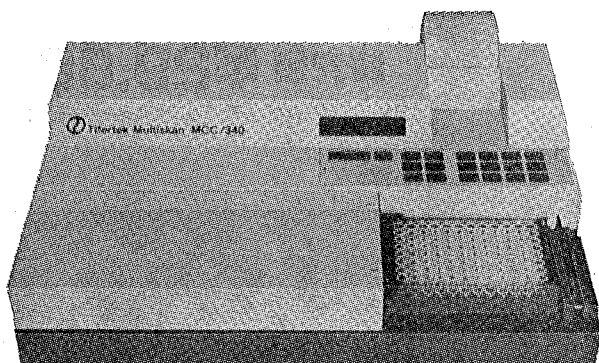
ベクトン・ディッキンソン ラブウェア事業部

Division of Becton Dickinson and Company

紫外部測定が可能になりました

マイクロプレート用吸光度計

タイターテック マルチスキャンMCC/340



＊紫外部フィルターを装着！

従来の可視部フィルターに加えて
紫外部フィルターを装着しました。

＊コンピュータ制御可能！

コンピュータによる操作および
データ取り込みができます。

＊7種類の測定表示モード！



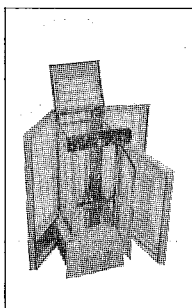
大日本製薬株式会社
ラボラトリー プロダクツ部

〒564 大阪府吹田市江の木町33-94
TEL 大阪 (06) 386-2164 (代表)

提携

Flow Laboratories

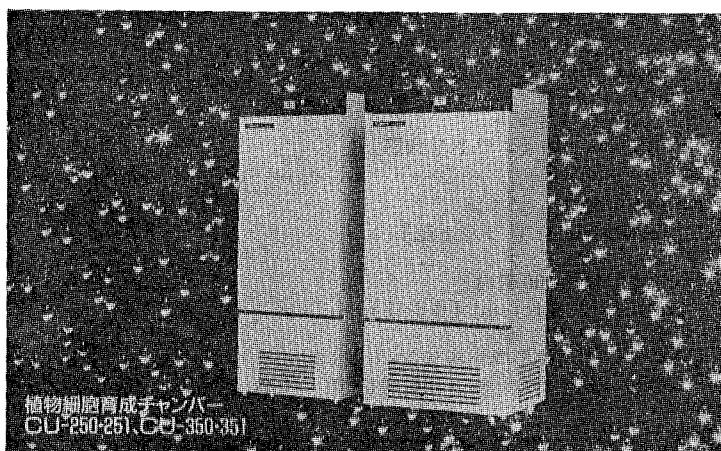
4-8



植物細胞育成チャンバー

□ 今バイオの時代を迎えて
高湿度、高精度温度制御。
殺菌灯・フィルター使用でクリーンな空気が循環。
昼夜の環境を精密に制御できるフルオートタイプ。

TOMY



- 5面からの強力照射（植物育成用紫外灯の使用も可能）。
- 除菌装置付き空気循環サイクル。
- 室内温度の異常上昇、下降を防止する安全機構。
- プログラム運転が可能（CU-250・350）。
- 最大照度 室内容積 23,000x2500x1820mm CU-250・251 18,200x3500x1820mm CU-350・351
- 使用温度範囲 +4～+50℃
- 各種育成機器も同時発売（クリーンベンチ、CO₂インキュベーター、サーキュレーター、ジョイントエアー、オリガパス倒立顕微鏡）

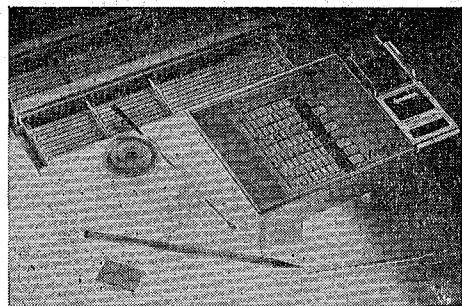
Mupid-2®

ミニゲル電気泳動システム《ミューピッド-2》

従来のミューピッドにポリアクリルアミドゲル調製用カバーが付きまして、アガロースゲル同様、簡便な使用が可能となりました。

- お一人に一台以上。
- 安全、軽量、簡単な操作。
- 学生の実習用など教材としても最適。

※部品の別売もしております。



超安価 ¥29,800

(PAGE調製用カバー、電源及びゲルメーカーセットを含む)

Didets® (抗血清)

DIAGNOSTIC DETECTION SYSTEM

- 全血清(留分)の凍結品、高力価。
- 細胞骨格研究用等にお使いください。



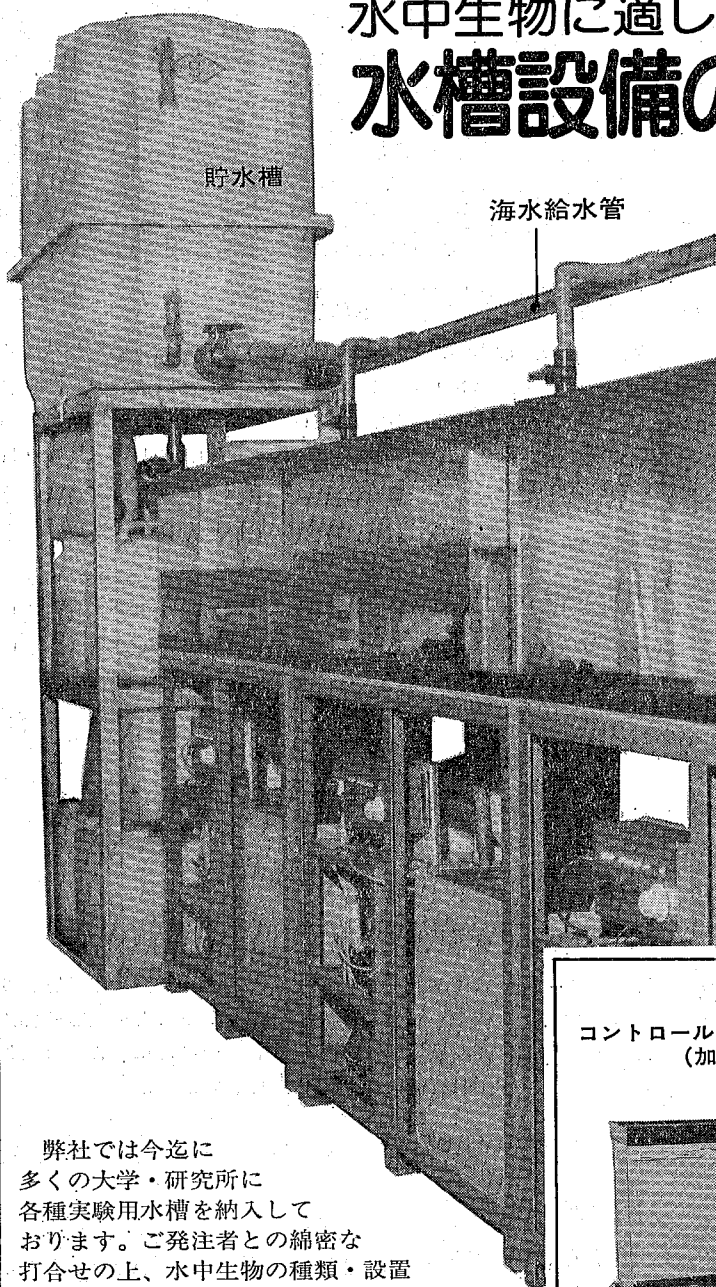
品 名〔抗原由来〕	特 異 性
〔ウサギ〕抗タイプⅠ・コラーゲン (Anti Collagen, type I) 〔ウシ真皮〕	ヒト及ラットと交差あり。タイプⅡ、Ⅳコラーゲンと交差せず、タイプⅢコラーゲンと僅かに交差(ELISA法)。
〔ウサギ〕抗タイプⅡ・コラーゲン (Anti Collagen, type II) 〔ウシ関節軟骨〕	ヒト及ラットと交差あり。タイプⅠ、Ⅲ、Ⅳコラーゲンと交差しない(ELISA法)。
〔ウサギ〕抗アクチン (Anti Actin) 〔ニワトリ胸筋〕	非筋細胞アクチンとも交差する。種特異性は殆どなし。
〔ウサギ〕抗ミオシン (Anti Myosin) 〔ニワトリ胸筋〕	非筋細胞ミオシンとも交差する。種特異性は殆どなし。
〔ウサギ〕抗チューブリン (Anti Tubulin) 〔ラット脳〕	ヒトと交差する。
〔ウサギ〕抗S-100蛋白 (Anti S-100 Protein) 〔ウシ脳〕	ヒト、ラット、マウス、ウナギと交差する。
〔ウサギ〕抗黄体形成ホルモン-β(LH-β) (Anti Luteinizing Hormone-β) (Anti LH-β) 〔ヒツジ下垂体〕	ヒト、ラット、マウスと交差する。

※近日、抗タイプⅢコラーゲン・抗タイプⅣコラーゲン・抗タイプⅤコラーゲン等を新発売いたします。お問合わせは、下記までご連絡ください。

製造元  **株式会社アドバンス** 〒103 東京都中央区日本橋小舟町5-7 ☎03(667)1551(代)

総販売元  **丸善石油バイオケミカル株式会社** 〒105 東京都港区芝浦1-1-1(東芝ビル) ☎03(798)3882(代)

水中生物に適した 水槽設備のご相談は どうぞ!!



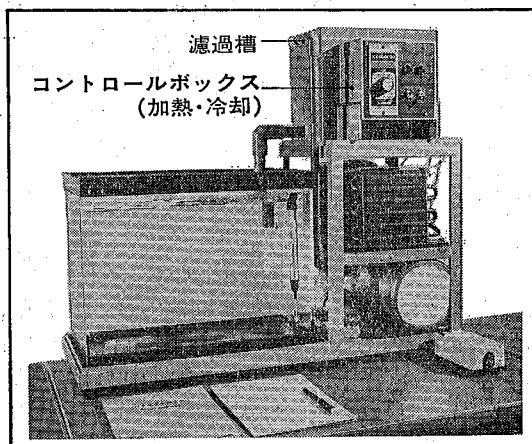
アクリリウム水槽

- 水槽寸法：1200×450×450H(%)×3台
- 海水の給水を容易にするため貯水槽をもうけ各水槽に配管しました。
- 左側の水槽では「ゆむし」を飼育中。



卓上型実験用水槽

- 水槽寸法：450×250×350H(%)
- 外形寸法：800×300×670H(%)
- 水中生物の飼育に必要な機能(濾過循環・水温調整・空気供給等)の全てをそなえています。



弊社では今迄に
多くの大学・研究所に
各種実験用水槽を納入して
おります。ご発注者との綿密な
打合せの上、水中生物の種類・設置
条件・ご予算に合わせて基本プランから製作・
施行までの一切をお引受けいたします。
水中生物実験をご計画の際は、弊社の技術と
アイデアをご利用下さい。

大型アクリル水槽 ● FRP水槽 ● コンクリート水槽 ● 水槽用加熱・冷却ユニット ● 運搬車輛用水槽 ● 付帯工事一式

お気軽にお電話下さい。

☎東京 03(778)1751(代)

Fax. 東京 03(775)8842



佐藤工業株式会社

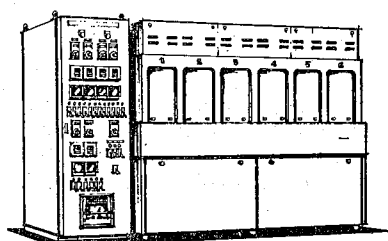
〒143 東京都大田区中央2丁目2番地6号

仙台営業所(活魚センター) 〒989-23 宮城県亘理郡亘理町荒浜鳥の海港 ☎02233(5)3230

Aquarex

研究に應える設備です

研究者のニーズにどう対応できるか——できるかぎりの努力をする
べきだと考えています。多機種の内から一部製品をご案内いたします。



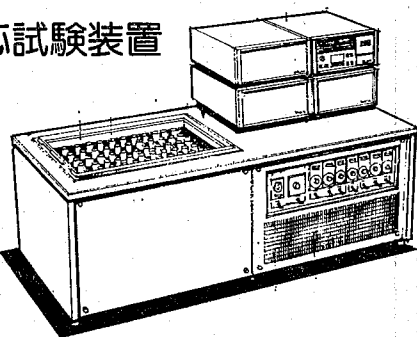
低温水棲生物生理実験装置

低温水棲生物の生理実験用装置。極寒冷地の植物性・動物性プランクトン、ウニ、ヒトデ、ベントス等に最適。水槽・温度調節装置・照明装置を装備。6槽分離独立。温度制御範囲は $-5^{\circ}\text{C} \sim +30^{\circ}\text{C}$ 。照明装置（クールレイランプ、熱線吸収ガラス使用。高照度30,000 Lux。照度・照明時間の自由設定可能。

TG6-1500

卵稚仔温度反応試験装置

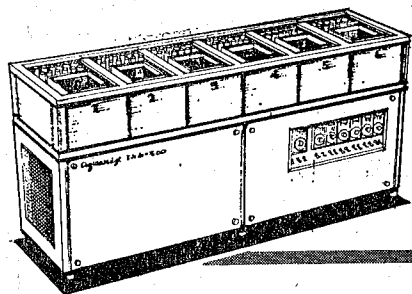
水生生物の卵・稚仔の環境温度に対する反応研究用に最適の装置。試験管88本により環境温度勾配を広範囲に一定保持。実験対象の各部位置温度を時間経過に従って記録。照度も自由に選べる照明装置。小型多点温度記録装置が特長です。



TG11-8

卵稚仔温度反応試験装置用馴致装置

卵稚仔温度反応試験装置（TG11-8）の馴致用装置。本装置は6槽に分離独立。水槽ごとに温度設定が可能。各槽ごとの試験管挿入可能。卵稚仔を反応装置（TG11-8）に入れる前準備に、また分類作業に最適。温度制御は正確・広範囲に温度設定が可能。

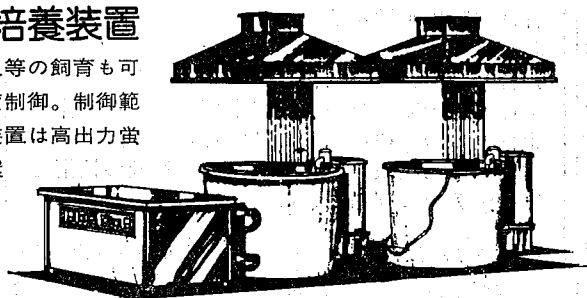


TG6-300

プランクトン培養装置

動植物性プランクトンの海水培養用装置。幼魚・稚魚等の飼育も可能。2ポリエチレン円形2重水槽。外側槽による温度制御。制御範囲 $5 \sim 35^{\circ}\text{C}$ 。ヒーター・クーラー自動切換式。照明装置は高出力蛍光灯。光量調節・照明時間の自由変更可能。海水循環酸素補給・水質維持装置付。

AR11D-1500



株式会社 **アクアレックス**

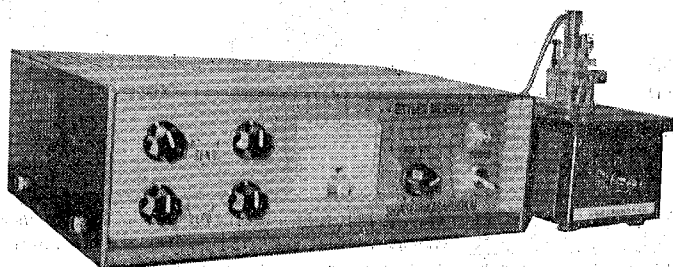
〒143 東京都大田区中央2丁目2番6号

お問合せ
ご相談はお気軽に ☎ 東京 03(778)0202

酸素電極による呼吸測定装置

(溶存酸素による呼吸測定装置)

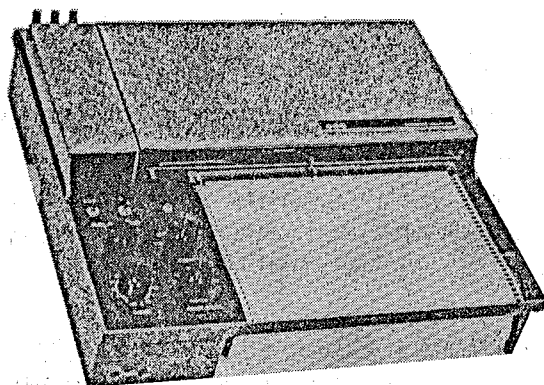
ミトコンダリア及び細胞懸濁液の溶存酸素減少による呼吸率の測定は、古くから行なわれて来ました。懸濁液を入れる密封容器の取扱いはかなりむずかしく、その容器の変更も困難でしたが、この容器は1.5ml~5mlまでの容量の変更が容易であり、試薬を懸濁液に投入したり、懸濁液の一部を密封状態のまま取り出す事が出来ます。セルはウォータージャケットがついていますので精密な温度コントロールが出来ます。フルスケール10mVの記録計に接続しても御使用できます。



S-I 溶存酸素測定装置

記録計

1mV~10V
フルスケール全幅移動可能
400K Ω ~無限大(レンジによる)
250mm幅
6段変速(標準最少2.5mm/min)
AC100V 50~60Hz



 信誠理化学器械株式会社

〒112 東京都文京区後楽 2-21-14

TEL (03) 815-3066代

FAX (03) 815-3231



イオン交換水・蒸留水の 大量採取に！

オートスチル WG-55/75型

マイクロコンピュータ制御機構を採用、
純水製造工程の水質チェックができるデ
ジタル水質計をはじめ、独自の採水機
構、ボイラ水自動排水機構などを備え、
蒸留水はもとより、調合、洗浄に必要
なイオン交換水を直接に、しかも大量
に採取できるニュータイプです。

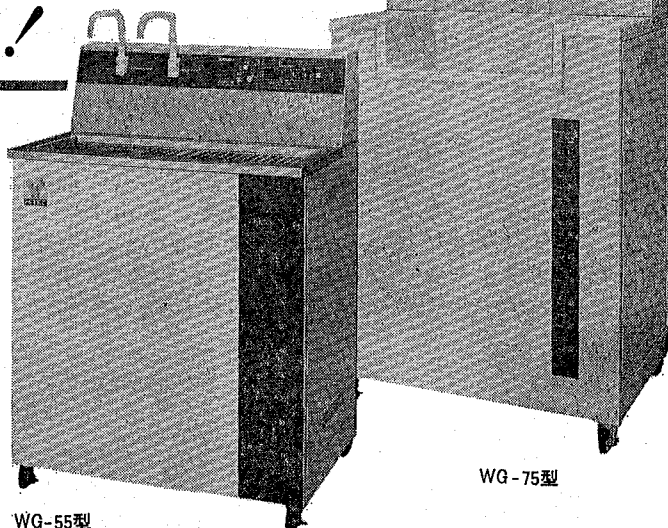
蒸留水採取量（最大流出量）

WG-55型：約5 ℓ/h (2.5 ℓ/min)

WG-75型：約10 ℓ/h (3.0 ℓ/min)

イオン交換水流出量

約1.5～3.5 ℓ/min



WG-55型

WG-75型

ヤマト科学株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋本町2-9-5 TEL. (03) 279-0911 (大代表)
新橋別館 〒105 東京都港区浜松町1-1-11 TEL. (03) 434-7811 (大代表)

■営業所／大阪・京都・名古屋・福岡・熊本・広島・仙台・札幌・金沢・甲府・城北・川崎・横浜・平塚・厚木・八王子・国分寺・千葉・大宮・川越・熊谷・宇都宮・筑波・鹿島

Silver Stain KANTO

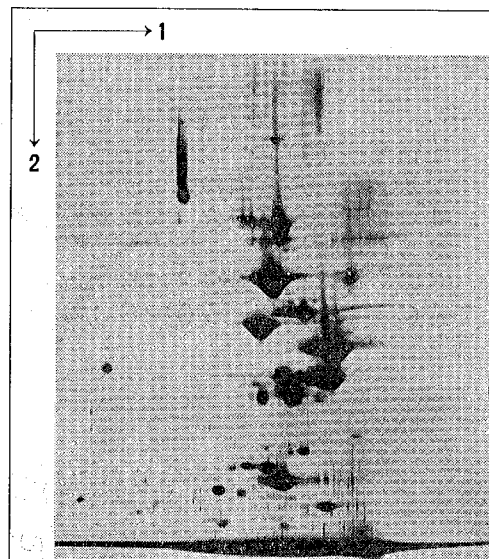
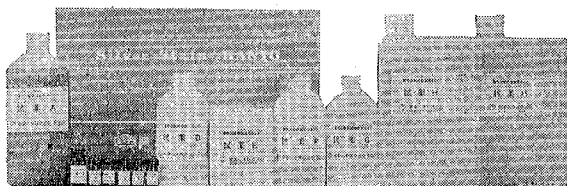
電気泳動用銀染色キット

シルバーステインKANTOは、蛋白・核酸を高感度
で簡単に検出できます。

シルバーステインKANTOは、現像が緩やかにすすむよ
うに調製されています。現像停止のポイントを判断しや
すく美しい染色像が得られます。

Cat.No.57650 Silver Stain KANTO

電気泳動用銀染色キット・シルバーステインKANTO
スラブゲル (140mm×140mm×1.0mm) 25枚分



O'Farrell 2D-electrophoresis (一次元目はNEPHGE(1)、
二次元目は、SDS/PAGE(2))。試料は、筋蛋白5 μg。

関東化学株式会社 試薬事業本部

103 東京都中央区日本橋本町3-2-8 03(663) 7631
541 大阪市東区瓦町3丁目1番地 06(222) 2796

自然科学関係の定期刊行物, 全集, 叢書, 単行本 輸入販売

アカデミア洋書

〒113 東京都文京区本郷 2-39-6 大同ビル (Tel.813-9805)

カタログ 1987年2月号から

1. Biology of Spermatogenesis and Spermatozoa in Mammals.(by S.S. Guraya)
(哺乳類の精子形成と精子の生物学) 455p, 85 figs. Feb.'87 ¥32,780._
2. Ontogeny of Olfaction: principles of olfactory maturation in vertebrates.
(ed.by W. Brepohl)(嗅覚の個体発生) 268p, 78 figs. Nov.'86 ¥12,980._
3. Molecular Genetics of Mammalian Cells: Primers in Developmental Biology
Vol.2 (ed. by G.M. Malachinski)(哺乳類細胞の分子遺伝) 480p, '86 ¥11,480._
4. An Atlas of Staging Mammalian and Chick Embryos.(by H. Butler & B.H.J.
Laurink)(哺乳類とニワトリ胚の発生段階別アトラス) 224p, '87 ¥27,140._
5. Somites in Developing Embryos. (Proc. Glasgow, Scotland, Apr.6-9,1986)
(胚発生における原体節) 320p, Dec.'86 ¥15,180._
6. Single Cell marking and Cell Lineage in Animal Development.(by R.L. Garner &
Lawrence, P.A.)(動物発生における単細胞標識と細胞系譜) 188p, '87 ¥16,200._
7. Experimental Approaches to Mammalian Development.(by J. Rassant & P.A.
Pedersen)(哺乳類発生に関する実験学的アプローチ) 560p, Feb.'87 ¥17,100._
8. Development and Plasticity of the Mammalian Spinal Cord: Proc. Int'l Cong.
Spoleto, Perugia, Sept.16-20, 1984 (ed. by A.T. Gorio)
(哺乳類脊髄の発生と可塑性) 300p, Feb.'87 ¥19,250._
9. Advances in Invertebrate Reproduction 4: proc. of the 4th Int'l Symp. for
ISIR held in Villeneuve- d'Ascq, France, 1-5 Sept. 1986
(ed. by M. Prochet)(無脊椎動物の生殖第4集) 568p, Dec.'86 ¥32,500._

価格は、全て概算価格になっております

上記以外にも洋書, 雑誌, バックナンバー等多数取り扱っております。御照会,
御注文をお待ち致します。尚, カタログ御希望の方は, 御請求下さい。直ちに
御送付申し上げます。

あらゆる研究分野に対応できる多様なシステム。
観察から撮影まで、可能な限り自動化を実現。



全自動写真撮影装置を内蔵。今までにない多様なシステム性と操作性で画像解析、分光測光などの将来的研究ニーズにも充分対応。電動6ヶ穴レボルバー、1×~100×まで完全ケーラー照明、写真撮影レンズ4種類内蔵、フィルム面と同じ像が観察できる一眼レフ式ファインダー、視野数26.5φの超広視野など随所に最先端のメカニズムが生きています。しかも、35mm2台+大版1台+TVカメラ1台計4台を同時装着できる3-WAYカメラ。鮮明な像を観察、確実に記録できます。

VANOX-S series

最高級写真顕微鏡オートタイプ

●電動6ヶ穴レボルバー ●対物レンズに連動した照明系の切換えは調光・開口絞り・視野絞りを自動完了 ●低倍率のピント合わせ ●カメラ選択 ●撮影レンズの切換えなどを自動化(マニュアル操作も可)

VANOX-T series

最高級写真顕微鏡スタンダードタイプ

●電動6ヶ穴レボルバー ●NDフィルター11段階切換えによる自由調光 ●ボタンによるカメラ選択 ●撮影レンズ4種内蔵(ターレット切換え)

未知をひらく光学技術

〈仕様〉●超広視野接眼(視野数26.5φ) ●鏡筒長定常装置付 ●6ヶ穴電動レボルバー ●右下共軸ハンドル大型ステージ ●各種フィルター内蔵 ●撮影レンズ4種類内蔵 ●全自動写真撮影装置内蔵 ●35mmハーフサイズ撮影、スケール写し込み可(オプション)

VANOX-S/VANOX-T

最高級写真顕微鏡システム

オリンパス光学工業株式会社
オリンパス販売株式会社
総合代理店

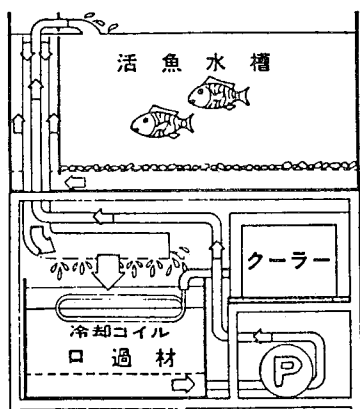
(株)三光オリンパス

海水魚飼育研究用装置

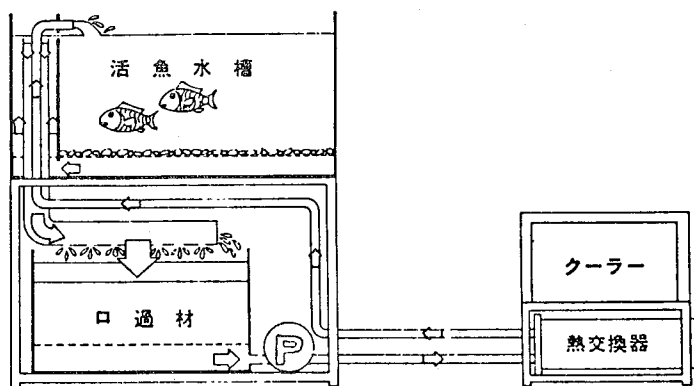
自動温度制御で強力冷却

- 経済的な節電タイプ
高性能冷凍機は運転時間が少なくすみ、とても経済的です。
- 抜群の冷却効果
冷却面積の大きな冷却器が効率よく海水を冷やします。
- 確実な水温制御
信頼性の高いサーモコントローラを使用し、自動的に正確な水温制御が出来ます。

● 投入タイプの設置例とその循環図



● 循環タイプの設置例とその循環図



● 投入タイプ仕様表

機種	使用限度水量	冷凍機出力
TKC 130	150ℓ 以下	125 W
TKC 200	300ℓ 以下	200 W
TKC 300	600ℓ 以下	300 W
TKC 400	800ℓ 以下	400 W
TKC 600	1,200ℓ 以下	600 W
TKC 750	2,000ℓ 以下	750 W
TKC1.100	3,000ℓ 以下	1.1kW
TKC1.500	5,000ℓ 以下	1.5kW
TKC2.200	7,500ℓ 以下	2.2kW

● 循環タイプ仕様表

機種	使用限度水量	冷凍機出力
TKC 200C	300ℓ 以下	200 W
TKC 300C	600ℓ 以下	300 W
TKC 400C	800ℓ 以下	400 W
TKC 600C	1,200ℓ 以下	600 W
TKC 750C	2,000ℓ 以下	750 W
TKC1.100C	3,000ℓ 以下	1.1kW
TKC1.500C	5,000ℓ 以下	1.5kW
TKC2.200C	7,500ℓ 以下	2.2kW

- 使用水量により機種を選定して下さい。多少大きめの機種を選ばれた方がより効果的です。
- 使用限度水量は外気温32℃・冷却水温18℃で算出してあります。機械の設置場所、水槽の材質・環境の差異等により使用限度水量が異なります。

TEL

三光医理化株式会社

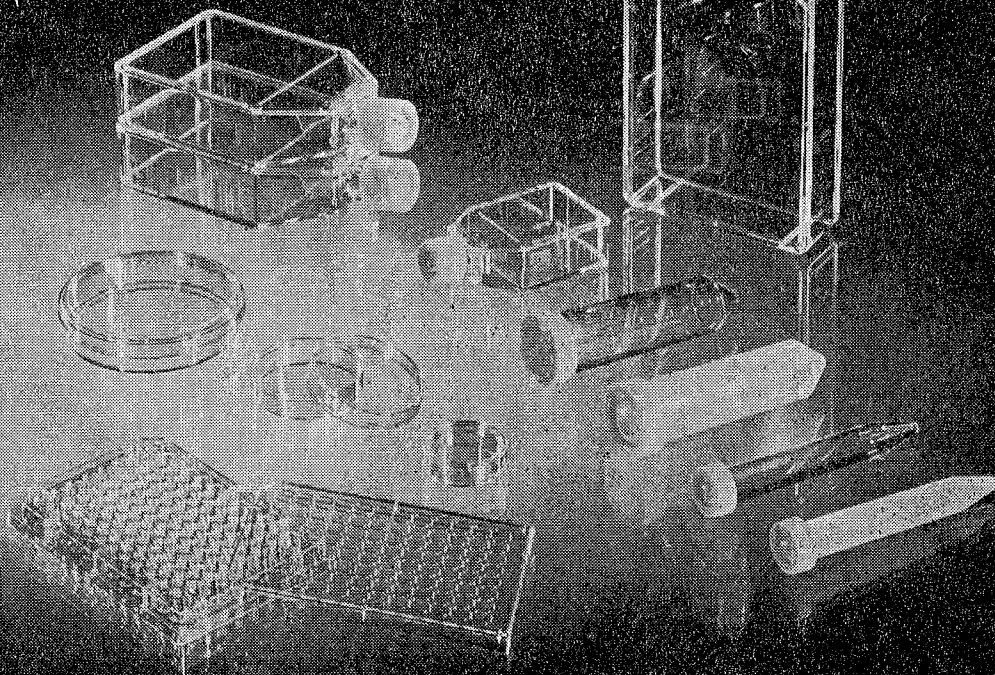
東京都豊島区要町2丁目8番地

(959) 3827
(955) 4060

CORNING

組織培養用プラスチック製品

ご満足いただけないCORNING組織培養用プラスチック製品は、無償でお取替えることをお約束します。



**PYREX®のコーニングが提供する組織培養用プラスチック製品は
実験のバラツキを解消します。**

●無菌生産

コーニングの組織培養用製品は、無菌環境で作られています。このため、バクテリアは勿論、機械油の蒸気やほこり等の付着もなく、培養特性が安定しています。

●フォームラック

コーニングの遠沈管・培養管には、フォームラック付きがあります。収納や運搬に便利なおえ、ガタツキがないため傷をつけることなく、沈澱物が再浮遊する心配もありません。

●100%リークテスト

コーニングのフラスコは、全数圧力試験を行っております。また厚手に成形されているので、リークやクラックの心配はありません。

●ダブルシールキャップ

ダブルシールキャップは、容器の口部内側と端部の2箇所ですりしめるもので、漏洩を完全に防ぎます。

●クロスコンタミネーション防止

マイクロプレートは、孔が独立しており、クロスコンタミネーションの危険がありません。

CODE	品名	品種	個/パック	個/ケース	材質(本体)	表面処理	滅菌	備考
25000	ベトリ皿	35φ×10mm	20	500	スチロール樹脂	○	無菌生産	
25010		60φ×15mm	20	500	"	○	"	
25020		100φ×20mm	20	500	"	○	"	
25100	フラスコ	25cm ³ (70mℓ)	20	300	スチロール樹脂	○	無菌生産	カントネック、ダブルシールキャップ
25110		75cm ³ (270mℓ)	5	100	"	○	"	"
25120		150cm ³ (600mℓ)	5	40	"	○	"	"
25140	ローラー ボトル	850cm ³ (2350mℓ)	2	36	スチロール樹脂	○	γ線	ダブルシールキャップ
25200	培養管	16φ×125ラック付	50	500	スチロール樹脂	○	無菌生産	ダブルシールキャップ
25310	遠沈管	15mℓラック付き	50	500	スチロール樹脂	—	γ線	許容遠心力1800 G、ダブルシールキャップ
25330		50mℓラック付き	25	300	ポリプロピレン	—	ETO	" 5000 G "
25820	マイクロ プレート	24孔、平底、蓋付き	1	50	スチロール樹脂	○	γ線	
25860		96孔、平底、蓋付き	1	50	"	○	"	

●表面処理は、親水性と細胞親和性を与えるもので、コーティングではありません。
●ETOは、エチレンオキシド・ガス滅菌です。
●詳細はカタログをご請求ください。

岩城硝子株式会社

本社 / 〒100 東京都千代田区丸の内 3-2-3 (富士ビル)

本社販売部 ☎ 03(214)7401(代)

大阪支店 ☎ 06(362)6291(代)

名古屋支店 ☎ 052(211)3855(代)

九州支店 ☎ 092(451)5606(代)

広島支店 ☎ 082(248)0293(代)

札幌営業所 ☎ 011(221)3477(代)